

ボールの特性レポート

BALL REPORT



ボール名 アブソリューション・バッシュ	投球者 徳江 和則	センター 平和島スターボウル
RG 2.440	Δ RG 0.060	●ピン ★PAP ✕CG ■バランスホール

テストボール

フレアーの幅 インチ

PAPからピンとの距離 **5 1/2** インチ

表面加工
 箱出し状態
 加工
 ペーパー
 ポリッシュ
 研磨剤

番

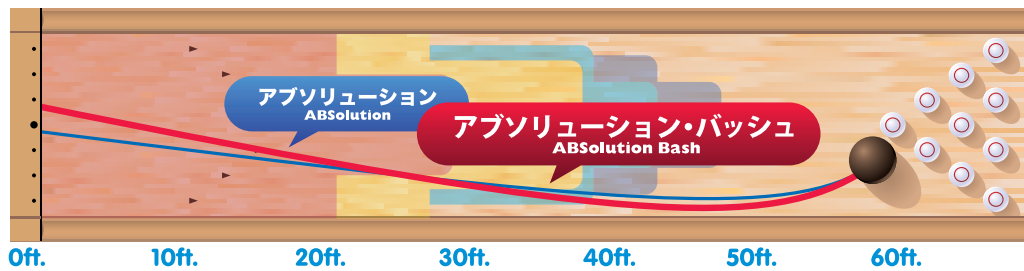
比較対照ボール：アブソリューション

フレアーの幅 インチ

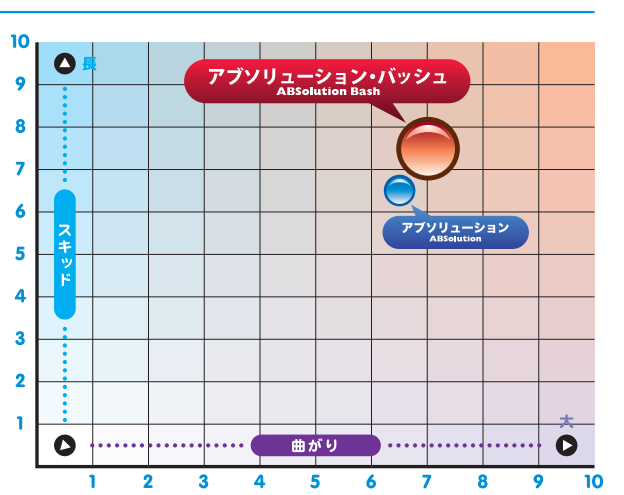
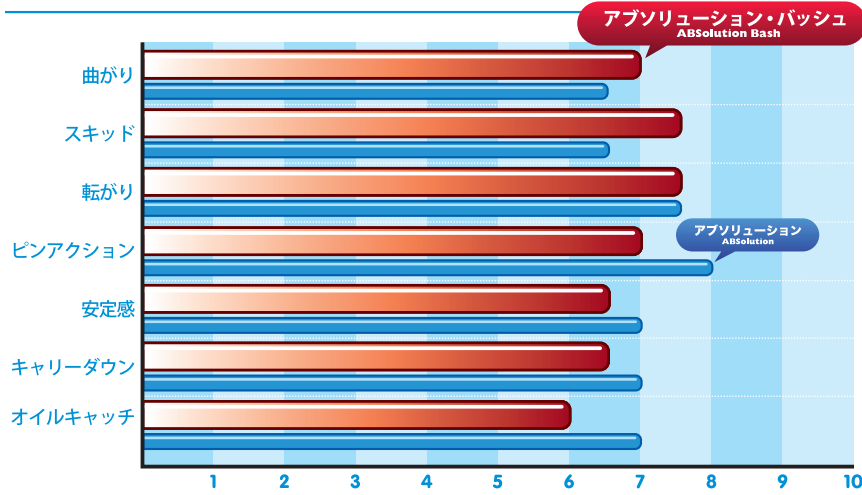
PAPからピンとの距離 **5 1/4** インチ

表面加工
 箱出し状態
 加工
 ペーパー
 ポリッシュ
 研磨剤

番



- ヘビー
- ミディアム
- ライト
- バフ



レーンコンディション	バックエンドリアクション	レンジス
Light Oil	Smooth	Early Roll
Light to Medium	Smooth to Arc	Early to Med
Medium Oil	Arc	Med-Lane
Medium to Heavy	Arc to Sharp	Med to Late
Heavy Oil	Sharp Angle	Late Roll

ボールの評価

トラクションコントロールカバーストックで発売されたアブソリューションは走りと曲がりを目指し、その後継機としてミディアムからライトオイル用に Low Δ RG ラピッドが発売されました。この二つは根強い人気で今も尚、発売され続けています。ABS R&D 開発チームはこのアブソリューションのコアを使用し、キレの限界に挑戦することを開発目標とし、今回アブソリューション・バッシュをリリース致します。このアブソリューション・バッシュは、先での切れを最大限に出すために何度も試行錯誤を重ね仕上げられました。開発段階での問題はスキッドとバックエンドのバランスで、キャッチさせ過ぎるとバックエンドは緩やかになり、スキッドさせ過ぎてもドライゾーンでの反応は減少傾向になったことです。我々はアブソリューションで使用したトラクションコントロールカバーストックの成分配合から、最も走りと切れを実現できる限界数値を導き出し、新たに 360°リアクティブを開発しバックエンドの過激さに拘りました。

曲がり幅のイメージは「アブソリューション>バッシュ>ラピッド」ですが、切れ幅は「バッシュ>アブソリューション>ラピッド」となります。当然走って切れるボールと共存するのはオイルキャッチで、キャリアダウンには反応しやすいですがドライゾーンでの向きの変わり方は過去最大級とも言えます。**スピードが不足がちの方や女性の方には有効的に使用して頂けることでしょう。**

ドライゾーンでの反応は過去最大級。走って切れるコンセプトで開発されました。暴れるボールにつきご注意ください。

特記事項